

むずかしいから僕できない…

4歳児 たんぽぽ組 12月6日(月) たんぽぽ組保育室

もっと小さく
しないとくぐ
れないかも。



くぐれた♪

先日いただいた縄跳びを使ってジャンプしたりくぐったりしながら遊びました。初めに縄跳びの話をするや否や、「難しいから僕できない…」と諦めるような発言がありました。

「難しいとみんなはやらないの？」と先生は問いかけました。「今みんなは歩けるけど、赤ちゃんのときは歩けなかったでしょ。たくさん練習したから今歩けるんだよね」「縄跳び最初からできる人はいないんだよ。先生も初めはできなかったよ」という話に子どもたちは納得して聞いていました。

まずは、縄跳びを使って、くぐる遊びをしました。「くぐるってどう動くのかな？」子どもたちは、くぐる動きをしたり、友達の姿をみて真似たりしていました。「へびだよ！気を付けてジャンプしてね」と先生が話すと、大きくジャンプして縄に引っかからないように気を付けていました。「難しいから僕できない」と言っていたことが、できて先生に認めてもらえたことで最後まで活動を楽しむことができました。



どこから跳
ぼうかな？

<保育の振り返り>

- 最初からできる人はないと教師が話したことで、気持ちも前向きになり、活動に取り組むことができた。また、できたことを認めるような言葉かけをしたことも大きいと感じた。
- 縄跳びを使い、くぐる、ジャンプするなど簡単な動きを取り入れたことで、これならできると子どもたちが思えるような活動になり、最後まで取り組むことができた。

<育ちの芽生え>

- ①健康な心と体 ②自立心